

森林・林業講演会 岩手から学ぶ、2つの取組

三重県の森林・林業等における課題解決を図り、今後の事業展開への参考とすることを目的に、岩手県内における先進的な取組について学ぶ講演会を開催します。

日時

平成 29 年 11 月 27 日(月) 13 時 30 分から 16 時 30 分

場所

三重県勤労者福祉会館 6 階 講堂
津市栄町 1 丁目 891

主催

三重県・一般社団法人三重県森林協会

内容

講演① 「『森林・林業日本一の町』を目指して(仮題)」

講師 前岩手県気仙郡住田町町長・岩手県クッパ協会会長
多田 欣一 氏

岩手県南部の気仙地方に位置する人口およそ 5,700 人の住田町は、特産である「気仙スギ」の産地でもあり、素材生産業や木材加工業が発達し「森林・林業日本一の町」を標榜しています。

4 期 16 年の町政運営の中で、FSC 認証取得や東日本大震災時の木造仮設住宅の建設、町産材をふんだんに活用した木造庁舎の建設、第 1 回「全国木のまちサミット」や希望郷いわて国体でのクッパ開催など、数多くの先駆的な取組を行われました。森林・林業日本一の町で取り組まれた実績についてお話しいただきます。



講演② 「漆フォレスターが語る、国産漆の現状と課題(仮題)」

講師 株式会社小西美術工藝社二戸支社
支社長 兼 漆生産部 漆フォレスター
福田 達胤 氏

特用林産物でもある国産漆の生産は、岩手県二戸市浄法寺地区のほか、全国でも限られた地域のみで行われておらず、国内で利用される漆のほとんどを輸入品に頼っているのが現状です。

文化庁の通達により、文化財の修復には国産漆の使用が求められる中、自社で漆の生産を行うことを目標に、生産から「掻き子」と呼ばれる人材育成まで手掛ける、日本でただ一人の「漆フォレスター」に、漆生産の現状や課題、今後の展望についてお話しいただきます。



申込み・問合せ 一般社団法人 三重県森林協会 (前川・向田)

〒514-0003 津市桜橋 1 丁目 104 番地 三重県林業会館内
Tel 059-228-0924 Fax 059-228-3220
電子メール mifa@zvtv.ne.jp

● お申込み

Fax 059-228-3220 または 電子メール mifa@ztv.ne.jp でお申込ください。

ご所属	
お名前	
連絡先電話番号	
参加人数	

● 会場のご案内

三重県勤労者福祉会館 6階 講堂(津市栄町1丁目891)



【駐車場のご案内】

県庁駐車場(大駐車場)または吉田山会館横駐車場をご利用ください。